

報道関係各位

LPI-J No.20260701

2026年7月1日

特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

Linux 学習のデファクトスタンダード『Linux サーバー構築標準教科書』に 待望の「Ubuntu 版」が登場！

～LinuC Open Network コミュニティの共創プロジェクトから誕生、
進化する IT 技術者教育を強力に支援～



オープンテクノロジー技術者認定機関として Linux 技術者認定「LinuC (リナック)」などを実施する特定非営利活動法人エルピーアイジャパン(以下:LPI-Japan、東京都千代田区、理事長 鈴木 敦夫)は、実習を通して Linux サーバー構築の知識を学べる学習用教材「Linux サーバー構築標準教科書」(以下:本教科書)の Ubuntu 版を 2026 年 7 月 1 日(水)にリリースし、LPI-Japan のホームページで公開しました。本教科書は、Linux 技術者認定試験「LinuC (リナック)」の学習の準備としても役立ちます。

PDF 版(無償)、ePub 版(無償)、Kindle 版(有償)は 2026 年 7 月 1 日より提供を開始し、製本版(有償)は 2026 年 7 月 1 日より予約販売を開始します。

リリースの背景と主な特長

■ 本教科書リリースの背景

近年、クラウド、AI、コンテナ、データサイエンスなどの分野において、Linux の活用がますます広がっています。その中でも Ubuntu は、開発環境やクラウド環境を中心に広く利用されている Linux ディストリビューションの一つです。

世界最大級の開発者調査「Stack Overflow Developer Survey 2025」(注 1)によると、Ubuntu は個人利用(27.8%)、業務利用(27.7%)の双方で多くの開発者に利用されています。Ubuntu は、AWS や Microsoft Azure などのパブリッククラウドにおける Linux 仮想マシンとして広く利用されているほか、コンテナのベースイメージ、生成 AI・LLM 開発環境、NVIDIA GPU を活用した機械学習環境など、多様な用途で採用されています。

さらに、大学や専門学校などの教育機関においても Ubuntu の利用が広がっており、実際の利用環境に即した学習教材へのニーズが高まっています。

LPI-Japan は、このような市場動向と教育現場からの要望に応えるため、LinuC Open Network コミュニティ(注 2)の協力のもと、「Linux サーバー構築標準教科書」の Ubuntu 版を開発・公開いたしました。これにより、利用環境や学習目的に応じて、AlmaLinux 版と Ubuntu 版の双方から学習環境を選択できるようになります。

報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局 TEL : 03-6205-7025 / E-mail : press@lpi.or.jp

<https://lpi.or.jp> <https://linuc.org/> <https://html5exam.jp/> <https://oss-db.jp/> <https://opcel-org/>

■ 本教科書の主な特長

1. Ubuntu 24.04 LTS を利用した実践的な学習環境

従来の AlmaLinux 版に加え、本教材では Ubuntu 24.04 LTS (Server) を学習環境として採用しました。受講者自身が Ubuntu をインストールし、実際にコマンドを実行しながら学習を進めることで、実務に直結する知識と技術を習得できます。

2. 実習を通じてサーバーの仕組みを深く理解

LinuC レベル 2 (201 試験・202 試験) の学習範囲に含まれるサーバー構築技術を、実際の構築演習を通じて学べます。構築したサーバーへ Web アクセスを行ったり、メールの送受信を行ったりすることで、サーバーの動作原理や各種プロトコルの仕組みを体験的に理解できます。

3. コミュニティと共創する「進化し続ける教科書」

本教科書は 2009 年の初版公開以来、多くの利用者や現場の IT 技術者からのフィードバックを取り入れながら改訂を重ねてきました。今後も、誰もが参加できる LinuC Open Network コミュニティにおいてレビューや議論を行いながら、最新技術への対応やコンテンツ拡充を継続していきます。

4. クリエイティブ・コモンズライセンスによる無償公開

本教科書はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス (注 3) のもとで公開されています。PDF 版および ePub 版は、学校教育、企業研修、個人学習など用途を問わず、誰でも無償で利用できます。

執筆者からのコメント

LinuC エヴァンジェリスト/株式会社ゼウス・エンタープライズ 鯨井貴博氏

Linux の操作は難しそうと、サーバー構築を遠くに感じていませんか？

本書は、そんなあなたにぜひ読んで頂きたい一冊です。

Ubuntu 24.04 LTS をベースに、Web・DNS・メールといったインターネット上で使われるサーバーを、手を動かしながら学ぶことができます。

挫折しないためにコマンド操作は最小限にしており、「動いた！」という感動・体験を優先しました。

コマンド習得には標準教科書シリーズの Linux 標準教科書との併用がおすすめですが、まずは本書でサーバー構築の楽しさを知ってください。

その一歩があなたの技術力向上、そしてエンジニアとしての明るい未来の役に立てば幸いです。

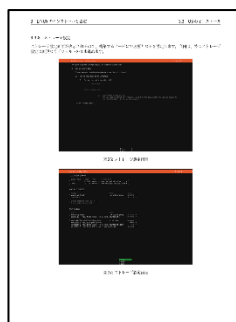
概要

<基本情報>

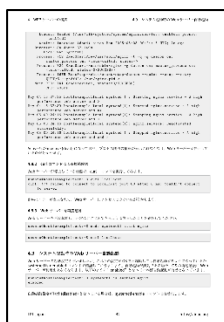
- ・タイトル 『Linux サーバー構築標準教科書 Ubuntu 版 (Ver. 1.0.0) 』
- ・提供開始日 2026年7月1日(水)
- ・提供形式 PDF版(5.8MB)、EPUB版/Kindle版(6.1MB)、製本版(104頁)
- ・提供価格 PDF版、EPUB版：無料、Kindle版：300円(税込)、製本版：1,650円(税込)
- ・言語 日本語
- ・URL <https://linuc.org/textbooks/server/>



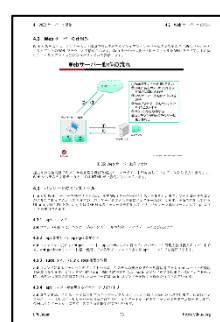
・中面イメージ



<中面 1>



<中面 2>



<中面 3>

<テキストの構成>

- 第1章 Linux サーバーの概要
- 第2章 VirtualBox のインストールと仮想マシンの作成
- 第3章 Linux のインストールと設定
- 第4章 Web サーバーの構築
- 第5章 DNS サーバーの構築
- 第6章 メールサーバーの構築
- 第7章 ネットワークとセキュリティの設定

【注釈】

- 注1) Stack Overflow Developer Survey 2025 の「Computer operating systems」の調査項目。
<https://survey.stackoverflow.co/2025/technology>
- 注2) 誰でもオープンに参加できる Slack の意見交換用コミュニティにて、本教科書の内容やアップデートについてコメントできます。
<https://linuc.org/textbooks/server/>
- 注3) 本教科書は、クリエイティブ・コモンズ・パブリック・ライセンス「表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 (CC BY-NC-ND 4.0)」の下に提供されています。
<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/legalcode.ja>

報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局 TEL : 03-6205-7025 / E-mail : press@lpi.or.jp
<https://lpi.or.jp> <https://linuc.org/> <https://html5exam.jp/> <https://oss-db.jp/> <https://opcel-org/>

【参考 URL】

Linux 標準教科書 : <https://linuc.org/textbooks/linux/>
Linux セキュリティ標準教科書 : <https://linuc.org/textbooks/security/>
Linux システム管理標準教科書 : <https://linuc.org/textbooks/admin/>
高信頼システム構築標準教科書 : <https://linuc.org/textbooks/system/>
オープンソースデータベース標準教科書 : <https://oss-db.jp/ossdbtext>

【登録商標】

記載されている団体名・試験名の固有名詞およびロゴ等の知的所有権は各所有団体に帰属、もしくは LPI-Japan が利用許諾を受けた商標または登録商標です。

●報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局

TEL: 03-6205-7025 / E-mail: press@lpi.or.jp

=====

LPI-Japan について

=====

LPI-Japan は、日本での Linux の技術力認定試験の普及と IT プロフェッショナルの育成のため 2000 年 7 月に設立され、現在は対象を広げ OSS のデータベースソフトウェア、クラウドソフトウェア、および HTML5 のプロフェッショナルのための認定試験を実施する NPO 法人です。

LPI-Japan は、オープンテクノロジーの分野で IT プロフェッショナルの技術力の認定制度を中立公正な立場で公平かつ厳正に運営することを通じて、IT プロフェッショナルの育成、さらにはオープンテクノロジーに関連するビジネスの促進に寄与する活動を展開しています。

●LPI-Japan の概要 (<https://lpi.or.jp>)

法人名: 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

所在地: 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-2-2 東宝日比谷ビル 9F

連絡先: TEL: 03-6205-7025、e-mail: info@lpi.or.jp

設 立: 2000 年(平成 12 年)7 月 28 日

ミッション: オープンテクノロジーの技術者認定試験の実施を通して、IT プロフェッショナルの育成と価値向上、活躍を支援し、社会に貢献すること

業務内容: IT プロフェッショナルの認定活動を通じた技術者育成と OSS/HTML5 等のオープンテクノロジーの普及・推進

理事長: 鈴木 敦夫

理事: 中島 龍史 日本電気株式会社
杉本 裕紀 株式会社日立製作所
太田 勝久 富士通株式会社
松下 文男 富士通株式会社

報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局 TEL: 03-6205-7025 / E-mail: press@lpi.or.jp
<https://lpi.or.jp> <https://linuc.org/> <https://html5exam.jp/> <https://oss-db.jp/> <https://opcel-org/>

青山 雄一 サイバートラスト株式会社
監事: 寺本 振透 九州大学 大学院法学研究院教授

LPI-Japan プラチナスポンサー:

下記 URL の「LPI-Japan プラチナスポンサー」は、LPI-Japan の活動に賛同・支援しオープンテクノロジー人材の育成や市場の活性化に深く貢献している企業/団体です。

<https://lpi.or.jp/sponsor/list/>

LPI-Japan ビジネスパートナー:

下記 URL の「LPI-Japan ビジネスパートナー」は、Linux/OSS などの技術者認定を通じて本質的技術者を育成し活躍の場を広げることでオープンテクノロジーを活用したビジネスの拡大に積極的に貢献する取り組みをしている企業です。

<https://lpi.or.jp/bp/list/>

LPI-Japan アカデミックパートナー:

下記 URL の「LPI-Japan アカデミックパートナー」は、オープンな技術を通して IT 技術の仕組みを理解し、確かな基礎技術力を持ち社会で活躍できるエンジニアになるように、学生に向けて様々な教育を実施している教育機関です。

<https://lpi.or.jp/partner/list/#academic-p>

LPI-Japan アカデミック認定校:

下記 URL の「LPI-Japan アカデミック認定校」は、LPI-Japan が独自に定めた学習環境基準をクリアし、認定試験の合格を目指す受験者に質の高い教育を提供できる研修機関/学校です。

LinuC: <https://lpi.or.jp/school/list/>

OSS-DB: <https://oss-db.jp/learning#academic>

HTML5: <https://html5exam.jp/measures/learning.html>

OPCEL: <https://opcel.org/training>

LPI-Japan 認定教材 (LATM):

下記 URL の「LPI-Japan 認定教材 (LATM)」は、出題範囲に添って作成された教材として、LPI-Japan が認定した教材です。

LinuC: <https://linuc.org/measures/textbook/>

OSS-DB: <https://oss-db.jp/learning>

HTML5: <https://html5exam.jp/measures/textbook.html>